





【基本施策の目的】

市民がより多くの緑と身近にふれあい、うるおいや安らぎを感じることができる、緑豊かな美しいまちを創造します。

【基本施策の今後の優先度】

<b>中</b>	基本施策の指標値は基本的に横ばいであるものの、市民の緑化意識の向上と緑の基本計画の目標に向けて引き続き各種事業を実施する。 しかし、現状は当面の取り組みをしっかりと進めていく予定であり、同一分野内における他の基本施策との比較の結果、「中」と判断した。
----------	--

【指標の分析と今後の対応】

指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	今後の対応	
緑が豊かなまちと思う市民の割合	%	実績	73.0	77.0	74.9	71.4	7割以上の市民が「緑豊かなまち」と感じていただいている。非常に高い数字である。居住地別では住環境整備がある程度完了している桃花台地区は80%以上と非常に高い数字である。それ以外の地域でも概ね70%と非常に高い数字であり、急激な下降は想定しにくい。	緑化に対し市民全体の意識レベルが少しでも上がるよう、緑化推進協議会による花いっぱい運動の推進や緑化活動に対する助成制度の周知やイベントの際、緑化に関するPRを行う。	
		目指す方向性							
緑の創出面積(累計)	m <sup>2</sup>	実績	7,396	18,669	19,830	26,913	民有地緑化や都市公園の整備により実績はあがっている。	緑の基本計画に基づき公園緑地の整備を推進する。	
		目指す方向性							
展開方向	指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見通し(予測)	事務事業等の見直し内容
1 緑化意識を高めます	家庭などで花や木を育てている市民の割合	%	実績	75.5	75.6	74.8	67.5	基準値自体非常に高く、昨年度の実績値も十分高いため現状を維持する。年代別では20歳～40歳代の割合が他の年代に比べ若干低い。	引続き、みどりの教室や苗木・球根等の配布を通じ緑化意識の向上を図り、若い年代の緑化意識の底上げの方策等を検討する。
			目指す方向性						
1 緑化意識を高めます	緑化推進協議会グループ活動数	団体	実績	2 (H26年度)	/	4	1	個人、法人ともに活動実績が減少している。	引続き、HP、総会や施設見学会などの折にパンフレットを配布し広く広報活動を行っていく。
			目指す方向性						

展開方向	指標	単位	区分	基準値	H26度	H27度	H28度	方向性との整合性とその要因、実績の増減の要因、今後の見直し(予測)	事務事業等の見直し内容
2 安全・快適な公園を維持します	市民協働による公園管理数 (市民協働によりルールづくりした公園管理数)	箇所	実績	0 (H26年度)		0	0	公園のルールづくりの指針(案)を地元区へ提示し協議検討後、指針(案)を取りまとめるとともに、モデル地区を選定する必要がある。	管理委託区の状況を把握し、公園利用の問題点を洗い出していく。また、公園整備に伴うワークショップでルールづくりを作成する。
			目指す方向性	↑					
市民四季の森が適切に管理された魅力的な公園と思う来場者の割合	市民四季の森が適切に管理された魅力的な公園と思う来場者の割合	%	実績	91.3 (H26年度)		98.3	100	バラアジサイまつりの来園者にアンケートを実施。100%に近いため現状維持に努める。	管理委託団体との連携を強化し適正な維持管理に努めるほか、中長期的な視点からコスト削減を目的とした事業を実施する。
			目指す方向性	↑					
3 公園・緑地・緑道の整備を推進します	市民1人あたりの都市公園面積	m <sup>2</sup> /人	実績	7.3	7.4	7.4	7.4	緑の基本計画による公園整備目標の平成32年で7.6m <sup>2</sup> /人に向けて、整備年度計画により事業を実施していく。	公園整備や緑の創出・保全、小牧山樹木管理は、市民に憩いの場を提供する目的として必要のため、引き続き、緑の基本計画による公園整備目標に向けて実施していく。
			目指す方向性	↑					

経常事業	削減に関する具体的な考え方	展開方向1	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民四季の森バラアジサイまつり開催事業は市民の積極的かつ恒常的な緑化意識の向上を目的として平成16年度から実施しています。開催当初より、6月上旬はバラ、中旬はアジサイが満開であるため6月の16日間で開催しています。マンネリ感も否めず来場者数の増加も見込めないのが現状です。長期間にわたり開催してきたバラアジサイまつり自体一定の成果を挙げたと思われるため、来場が増すまつりへ見直す必要がある。(引続き5,6月の1ヶ月程度は四季の森園内のバラアジサイまつりは実施)</li> <li>また、緑化意識向上に特化した集客力の高い、土日2日程度の短期集中型イベントを企画検討する。</li> </ul>
		展開方向2	現状の事業を引き続きしっかりと進めていく。
		展開方向3	<p>児童遊園施設整備事業は、経年劣化の進む児童遊園を、安心して遊ぶことのできる場所とするため、平成26年6月(平成20年8月)に改正「都市公園における遊具の安全に関する指針」に基づき再整備を行う事業である。現在、本市が管理する児童遊園は全80児童遊園あり、その中で再整備を進めているのは小牧市が土地を所有している62児童遊園である。なお、当事業は平成23年度から着手し、平成28年度末までに45箇所を完了しており、残り17箇所である。又、無償借地の18児童遊園については、平成29年1月に児童遊園の管理を委託している民生・児童委員に対し今後の児童遊園のあり方について、アンケート調査を行った結果、存続の回答を得た15箇所(道路拡幅に伴う藤島児童遊園(存続、平成30年度再整備)を含む)は再整備を検討しており、残り合計32箇所である。よって、当事業については、これまでの年7~10箇所程度の再整備を行っていたが、一定の成果が出ているため、年5、6箇所程度(7カ年)に縮小しても一定の成果を見込めることから、事業費の一部を削減する。</p>